

平成29年度 北海道開拓の村 企画展

写真にみる開拓の姿

～北の大地の殖産興業～



大正期の岩見沢にあった中村工場（建物の前には製造した櫓が並ぶ）
一般財団法人北海道歴史文化財団所蔵

会期：2017年12月9日(土)～2018年2月18日(日)

休館日：2月5日を除く毎週月曜日(祝日の場合翌火曜日)、12月29日(金)～1月3日(水)

会場：北海道開拓の村 旧開拓使札幌本庁舎(ビクターセンター)2階ホール

料金：北海道開拓の村入場料金のみ(一般800円、大学生・高校生600円)

※65歳以上の方、中学生以下の子ども、障がい者手帳をお持ちの方は無料

※高校生に限り土曜日の入場は無料

北海道の開拓の様子は多くの写真により記録され遺されてきました。多くの方がご存じの名所や旧跡となった建造物等、歴史的イベントの写真はもちろんですが、開発前の景観や作業中の様子など、目にする機会の少ないものが少なくありません。

昨年は、交通インフラがテーマでしたが、今年の企画展は『北の大地の殖産興業』をテーマに、北海道の産物や気候を活かし、西洋の技術・文化導入とともに進められた産業振興の姿をご覧ください。

お問合せ≫野外博物館北海道開拓の村
札幌市厚別区厚別町小野幌50-1
TEL) 011-898-2692
mail) info@kaitaku.or.jp
HP) <http://www.kaitaku.or.jp>

主催 一般財団法人北海道歴史文化財団

■関連講座「写真に見る開拓の姿」①～③

①『開拓の姿を捉えた写真』

12月16日(土) 13:30～15:30

内容：多くの写真を残した明治期の写真師に注目し、北海道における写真術の広がりについて紹介します。

講師：大下智一氏(北海道立近代美術館主任学芸員)

②『気候・地勢を活かした新たなる産業』

1月20日(土) 13:30～15:30

内容：製氷、農業、造材などの第一次産業と、それら産物を活かした第二次産業の広がりに着目します。

講師：細川健裕(当村学芸員)

③『伝統的な産業の盛衰』

2月10日(土) 13:30～15:30

内容：ニシン漁、染物業、養蚕など北海道、もしくは日本における伝統的な産業の様子を紹介します。

講師：中島宏一(当村館長・学芸員)

会場：ビクターセンター地下講堂

申込：各開催日の1ヶ月前より

【申込先：北海道開拓の村TEL011-898-2692】

※事前に申込された方は入場無料